

**平成 28 年
白石市長選挙公約
山田裕一**

(平成 28 年 10 月 16 日)

MISSION1 市民の安心

【市民の安全】

- 市民の安全を守るのが行政の大きな役割です。約10年間の議員生活で築き上げた人脈とネットワークを活用し、市民の安心を全力で守ります。
- ・刈田病院を核とした地域医療の充実に取り組みます。仙南医療圏17万人に対して、刈田病院が果たす役割を進展させ、白石市民のみならず、仙南地域住民の安心確保と地域包括ケアの充実を図ります。また、仙南医療圏において刈田病院と県南中核病院は絶対に必要です。今後は、国保病院・診療所を含めた医療連携などを視野に入れ、仙南広域行政(2市7町)へのアプローチを進めます。
- ・福島第一原子力発電所事故が原因の放射能対策に今後も継続して取り組みます。

【健康】

- 健康寿命延伸を目指し、予防医学の専門家の知見を取り入れ健康指導を強化します。
- ・病気や要介護者になると本人はもとより家族にも大きな負担となってしまいます。健康指導を強化し現役世代からの健康づくりを推進します。
- ・医療機関と連携しICT(情報通信技術)を活用した地域医療ネットワークの構築を推進し高齢者の介護予防に努めます。
- ・「健康で長生きができる白石」を目指します。
- スポーツ振興や生涯学習を支援し、市民のこころとからだの健康を支援します。
- ・これまで以上にスポーツ少年団や文化サークルの活動を支援します。
- ・現在、月1回健康センターで行われている健康相談、こころの相談等の定例相談をインターネットなどを活用し、より相談しやすいものへと強化します。

【防災力向上】

- 消防団への装備および自主防災組織への資器材の充実を図り、防災力を向上させます。
- ・自然災害はいつ起こってもおかしくありません。東日本大震災を経験した私たちだからこそ、災害への備えを怠ってはいけません。災害時に「想定外」という事態にならないように「モノの充実」と「防災意識の充実」に取り組み、防災力を向上させます。

【有害鳥獣対策】

- 有害鳥獣被害を減らすため、狩猟資格者の育成と電気柵や箱わななどの支援をします。
- ・イノシシ退治を強化します。イノシシによる農作物被害は拡大の一途で深刻な状況です。狩猟者が高齢化及び減少していることから、資格取得のための補助を支援するなど、狩猟免許取得者を増やして鳥獣被害対策実施隊を強化します。
- ・新製品「逃げまるくん」など効果的な機材の積極的な導入を支援します。

MISSION2 子どもは未来の宝

【教育の充実】

- 白石への愛情と誇りを育む、歴史や文化の教育を充実します。
 - ・人口減少時代に突入した日本で成長を求めれば、今後ますます海外に進出していかなければなりません。世界を知るには、自国のことや自分のふるさとの歴史や文化を知らなければなりません。地元のことやその背景を知ることによって愛情と誇りが生まれます。
- A L T（外国語指導助手）を増員し、外国語教育の充実を図ります。
 - ・世界で活躍するには外国語、特に英語は必要不可欠です。こどもの頃からネイティブの英語に触れる、また直接外国人とふれあうことで外国語と異国の文化に親しむことができます。
- I C T（情報通信技術）教育を推進し、基礎学力向上を目指します。
 - ・タブレット端末や電子黒板、インターネットを使うことで、学習の理解が深まります。タッチパネルで画像を動かしたり、拡大縮小したりすることで視覚的に理解できたり、わからないところは繰り返し見ることができます。
 - ・教材を作成したり板書する時間を短縮できる分、先生はこどもに向き合える時間が多くなります。

【図書館機能の充実】

- 学習スペースを充実させた図書館を整備し、学びの場を創出します。
 - ・こどもから高齢者まで図書館は生涯学習の拠点となる重要な施設です。現在の白石市図書館の建物は開設から40年以上経過し、老朽化しています。また約14万2000冊あまりの収蔵図書もこれ以上増やせないくらい手狭になっています。平成23年度は約10万5000名だった入館者数も平成27年度には約8万9000名まで減少しています。
 - ・建て替え等も視野に入れ、市民が「利用しやすい・利用したくなる」ように図書館機能の充実を図ります。

【保育の充実】

- 保育環境の更なる充実に取り組みます。
 - ・白石では年度当初は待機児童がゼロとなりますが、年度途中から待機児童が出てくる傾向があります。保育士の増員や保育施設の増強などを行い、年間を通じて待機児童ゼロを目指します。病児保育や病児後保育にも対応できる環境を整備します。

【屋内遊び場整備】

- こども達が安心して、楽しく遊べる屋内遊び場を整備します。
 - ・大型遊具や五感を刺激する遊具、知育遊具などを配置し、親子で楽しめ「何度も来たくなる」魅力的で特色のある施設を整備します。
 - ・現在、ふれあいプラザ内にある子育て関連の機能を移転し、子育て支援の拠点となる施設とします。

MISSION3 まちのにぎわい

【観光】

- 歴史と文化のまち、白石の観光資源を様々なメディアを通して内外に発信し、観光客で賑わうまちづくりを目指します。
- ・温泉やお城に食べ物、豊かな自然など白石は観光資源に恵まれています。それを活かしきれていません。日本国内はもとより、ホームページの多言語化や世界一利用されている旅行サイト「トリップアドバイザー」を活用するなど、あらゆるメディアを通して海外からも観光客を誘致します。
- ・日本版DMOのように様々な関係者と連携し官民が一体となって観光地域づくりをします。明確なコンセプト・マーケティングに基づき、観光による地域の稼ぐ力を引き出します。

【農業】

- 産官学連携により、ブランド米や高付加価値野菜等の普及に取り組みます。
- ・農産物に「白石ブランド」を持たせ、競争力のある農産物を育成します。

【道の駅】

- オール白石の総合物産館と成り得る道の駅を整備し、市民を含めた交流の拠点とします。
- ・農産物はもちろん、うーめんやこけし、和紙などの地場産品、工業製品など地元の商品を販売・展示します。イベントスペース等も設置した、他にはない特色ある道の駅として、多くの市民と観光客であふれる交流の拠点を目指します。国道4号線に隣接した場所に整備したいと考えています。

【やる気応援】

- 空き店舗等を活用し、起業や芸術を志す若者に住んでいただけるよう支援します。
- ・白石駅は白石の玄関口の1つであり商店街に元気がないと、まち全体に元気がないように見えてしまいます。空き店舗を市が借り上げ、起業を目指したり芸術を志す、やる気ある若者に格安で貸出し駅前に賑わいを創出します。

MISSION4 あたらしい未来地図

【新たな都市計画と都市計画道路の策定】

■現在の都市計画と都市計画道路を見直します。

- ・都市計画は秩序あるまちづくりをねらいに定める計画です。道路、公園、その他の公共施設などの土地利用や住居施設、商業施設、工業施設など8種類の用途地域などを指定し、環境の保全や商工業の発展を図っています。
- ・白石における都市計画道路は、昭和30年に将来の自動車交通量を見据え、13路線・35,340mの幹線道路網を定めています。しかし、現在の整備状況は、20,787mで改良率は58.8%に留まっています。
- ・更なる自主財源の確保を考えると、新たな都市計画が必要不可欠です。また、約60年前に作成された現在の都市計画道路のベースとなっているものを根本から見直し、これからの白石を見据えた新たな都市計画と都市計画道路を策定します。

【スマートインターチェンジ】

■白石駅、白石蔵王駅、国道113号線から近い位置にスマートインターチェンジを整備し、市内中心部から高速道路へのアクセスを改善します。

- ・白石には東北線の始発着駅、新幹線の駅、高速道路のインターチェンジがあり、交通インフラは恵まれています。それぞれが離れており不便を感じる市民が少なくありません。特に白石ICは市内中心部から離れています。
- ・太平森合近辺にスマートインターチェンジを整備し高速道路へのアクセスを改善します。
- ・スマートインターチェンジと道の駅を連携設置できれば、まちがより活性化し利便性が高まります。

結びに

私は4人の子どもの父親として白石の将来を考えたとき、教育は最も重要だと考えます。地域格差が教育格差とならないよう教育環境の整備を積極的に行います。子どもにとって最善の教育環境は何かを第一に考え、日本一の教育先進都市「子育てするなら白石市」を目指します。

現在、どんな事業を行うにも、白石市単独で事業を行うことが大変厳しい時代となっています。国や県からの補助金などを活用しながら、近隣自治体とはあらゆる分野でこれまで以上の連携を進めます。そこで例えば仙南広域連携を推進し、行政サービスを向上させます。また、まちづくりは行政だけがやるものではありません。PPP（Public Private Partnership＝官民が連携して公共サービスの提供を行うスキーム）やPFI（Private Finance Initiative＝民間の資金とノウハウを活用し効率的・効果的な公共サービスを提供するPPPの一手法）などを活用し、地域に根差した公共施設の活性化を図るとともに、行政・民間・大学などの研究機関が一体となってまちづくりを推進します。

市議会議員時代に村井知事や西村代議士をはじめとする多くの国会議員の方々、県内各地・全国各地の地方議員の方々、そして経済界の方々と確固たるつながりや協力関係を築き上げることができました。これまでに培った経験と人脈をフルに活用し、公約を実現いたします。自らが白石のトップセールスマン・広告塔として国内外に積極的に白石をPRします。

市民と行政、専門家との知識と英知を結集して、現在の白石の都市計画を根本から見直します。取り組む課題に優先順位をつけ、必要なものにはしっかりと予算をつけつつ、徹底的に無駄を省いた予算を編成します。

様々な施策を通じて経済を活性化させます。私が愛してやまないこの白石をみんなが「住みたくなるまち」「住み続けたいまち」につくり変えます。

藩政時代以来、仙南の中心地・仙南の雄として活気があり輝いていた白石。かつての輝きを取り戻すため、白石市民のチカラを、今ひとつに。そして私が、カタチにします。